

# 今後の下野市の公共交通について

## 1.現状

種 類	事業者	路線等
鉄道	東日本旅客鉄道(株)	J R 宇都宮線 (小金井駅・自治医大駅・石橋駅)
路線バス	関東自動車(株)	石橋駅～宇都宮 石橋駅～真岡 石橋駅～獨協医科大学病院 (広域連携「ゆうがおバス」) 自治医大駅～自治医科大学附属病院
コミュニティバス	小山市	「おーバス (羽川線)」が小金井駅に乗り入れ
デマンド交通	下野市	「おでかけ号」の運行

## 2.経緯

時 期	内 容	考 察
合併以前から	循環型コミュニティバス「きらら号」「ふれあい号」の運行	利用者が少なかったため、新たな交通体系を検討。
平成19年8月～ 平成20年1月	2つのコースを設定した「市内循環バス」の試験運行	試験運行したが利用者が少なかった。
平成20年7月	「市内循環バス運行検討プロジェクトチーム」の設置	循環バスとデマンド交通の2案で検討し、デマンド交通の導入を選択すると提言。
平成23年11月	旧町ごとに運行エリアを設定したデマンド交通「おでかけ号」の運行開始（10人乗りワゴン車）	市内を3エリア（旧国分寺・旧南河内・旧石橋）に区分して運行。
平成24年3月	「きらら号」「ふれあい号」の運行終了	利用者が少なかった。
平成26年4月	市内全域の乗り継ぎ料金廃止	利用者が増加した。
令和3年4月	運行区域を市内全域に変更 AI配車システム・5人乗り4台（繁忙期5台）	運行エリアの一体化による乗り継ぎ廃止。
令和3年10月～ 令和4年3月	1市2町（下野市・上三川町・壬生町）相互利用の試験運行開始	本格導入の準備に入る。
令和4年4月	1市2町（下野市・上三川町・壬生町）相互利用の本格運行開始	市外の方の登録・利用が増加した。

### 3.課題（各種意見交換会や議会等で出された要望など）

- 高齢化の進展により、急増する運転免許証返納者の移動手段の選択肢拡大
- おでかけ号の平日午前中の混雑緩和策（午後の利用拡大キャンペーンなど）の実施
- 朝夕の通勤通学者の移動手段の選択肢拡大

### 4.デマンド交通、循環バス等のメリット・デメリット

	デマンド交通	循環バス等
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・希望する区間を利用できる</li><li>・自宅前から乗車できる</li><li>・運賃が安い</li><li>・予約に応じて運行する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一度に多くの利用者を運べる</li><li>・時刻表に合わせて移動できる</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・必ずしも希望する時間に移動できない</li><li>・事前に登録と予約をする必要がある</li><li>・予約の電話が繋がりにくいことがある</li><li>・乗車できる人数が限られる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運行区間が限定される</li><li>・停留所までの移動が必要</li><li>・移動時間が時刻表に縛られる</li><li>・乗客がいなくても運行する</li></ul>

## 5.問題解決と将来の公共交通体系のあり方を研究する

### 【研究案】

1. **デマンド交通の充実**
  - 「ドア・ツー・ドア」の区域運行を充実させるため台数を増やす
2. **定路線型のデマンド交通の導入**
  - 需要が多い時間帯に対応するため、10人乗りワゴン型車両等により、あらかじめ決まった路線を運行
  - 所定のバス停等で乗降を行うが、予約があった場合のみ運行
3. **循環バスやコミュニティバスの導入**
  - 交通空白地域から駅までなど、まとまった需要が見込める地域において導入
4. **デマンド交通の平日午後の利用促進**
  - 午後利用促進キャンペーンの実施
  - ダイナミックプライシングの導入（午後の時間帯の運賃を引き下げる等）

# 下野市公共交通

